

PRESS RELEASE

平成24年10月25日

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科と独立行政法人国立長寿医療研究センターが協力して 連携大学院を設置

<概要>

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科（以下「本研究科」という）と独立行政法人国立長寿医療研究センター（以下「長寿研」という）は、相互に連携し、本研究科の教育研究活動のいっそうの充実を図るとともに、相互の研究交流を促進し、その成果を学術及び科学技術の発展に寄与するため、本研究科に連携大学院を設置することに調印しました。

これにより、長寿研の研究者を本研究科の客員教員（非常勤講師）として任用し、本研究科での講義を行ったり、本研究科の学生が、長寿研の施設を使用して研究活動を行うことができるようになります。

このことは、長寿医療に関する第一線の内容を岡山大学大学院でも教授できるようになり、本研究科の教育研究内容の格段の拡充に繋がることを意味します。

さらには、長寿医療に関する良質な医療と研究により社会貢献の一助としたいと考えています。

<本文>

- ・ 独立行政法人国立長寿医療研究センター（以下「長寿研」という）とは、我が国唯一の長寿科学や老年学・老年医学に関する総合的・中核的な研究機関である。①人の尊厳や権利を重視し、病院と研究所が連携して高い倫理性に基づく良質な医療と研究を行うこと、②病院では高度先駆的医療、新しい機能回復医療、包括的・全人的医療を行うこと、③研究所では老化と老年病の研究、新しい医療技術の開発、社会科学を含む幅広い研究を行うこと、④老人保健や福祉とも連携し、高齢者の生活機能の向上をめざすこと、⑤成果を世界に発信し、長寿医療の普及に向けた教育・研修を行うことを基本方針としている。
- ・ 長寿研は、病院、研究所、認知症先進医療開発センターから成り立っている。病院は17の診療部門等、研究所は13の研究部等、認知症先進医療開発センターは8の研究部等からなる国家的研究機関である。
- ・ 近年の人口の少子高齢化に対応して、周術期管理、在宅・介護医療における多職種連携の必要性、さらには、ガン、認知症、生活習慣病、骨粗鬆症等の高齢者特有の疾患の予防や治療の重要性が高まっている。
- ・ 本連携協定により、本研究科を構成する全ての分野と長寿研が協力体制をとりながら、我が国トップレベルの長寿医療とサイエンスを推進する。
- ・ 具体的な連携内容としては、次の様な事項を予定している。
 - ・ 連携講座「長寿医療科学分野」を新設する。
 - ・ 長寿研の研究者を本研究科の客員教員とする。
 - ・ 連携講座の客員教員による講義を、本研究科で実施する。
 - ・ 希望する本研究科の教員や学生に一定期間、長寿研施設で研究をさせる。

<お問い合わせ先>

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

研究科長 谷本光音、副研究科長 浅海淳一

（電話番号）086-235-7230 （FAX番号）086-235-7230

（メール）tanimoto@md.okayama-u.ac.jp

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 教務グループ 大学院担当

主査 石田 達彦

（電話番号）086-235-7986 （FAX番号）086-235-7045

（メール）ishida-t3@adm.okayama-u.ac.jp